

【 2018 アジア選手権 】

2018年1月18日～1月28日 韓国・水源

試合結果報告 1 月 20 日 (土)

J P N	VS	IRN(イラン)
14	前半	19
18	後半	18
32	合計	37

個人得点

名前	前半	後半	7mTC		合計
佐々木 亮輔	0	0			0
酒井 翔一郎	0	0			0
宮崎 大輔	2	0			2
笠原 謙哉	0	1			1
部井久 アダム 勇樹	0	0			0
甲斐 昭人	0	0			0
植垣 健人	0	1			1
成田 幸平	0	2			2
徳田 新之介	7	3			10
渡部 仁	1	3			4
土井 レミイ 杏利	0	2			2
信太 弘樹	3	1			4
元木 博紀	0	1			1
玉川 裕康	0	0			0
東江 雄斗	1	2			3
門山 哲也	0	2			2
合計	14	18	0	0	32

戦評

予選リーグ1位通過か2位通過、どちらに回るかを定める重要な一戦は中東の強豪、イランが相手。事前のミーティングでは相手の高さのある攻守に対し、「激しい接触、スピードある突破」で打開していくことを確認した。しかし、日本は出だしから4連続失点とイランにペースを握られる展開となる。それでも信太、宮崎の突破、この日絶好調の徳田らで応戦するも14-19で前半終了。

後半、日本は攻撃で広いスペースを作り出し、徳田にボールを集めて加点していく。そこから生まれる次のスペースへ渡部、土井らウイング陣が走りこむ理想的な展開で一進一退のゲーム様相となる。ここから相手の焦りを引き出した日本だったが、ディフェンスラインを切り崩され、失点が止まらず32-37で試合終了。

メインラウンドはカタール、UAE、バーレーンと同組に回ることとなった。次戦以降、1日1試合の3連戦となるので精神的、身体的に非常に厳しい戦いになると思われる。コンディションをキープしつつ、チームの約束事を徹底して勝利を手にした。

報告記入者 :

吉村 晃